

患者用クリニカルパス【転移性肺腫瘍切除術を受けられる方へ】

月日 経過	入院～手術前日	当日の手術前	手術	当日の手術後	術後1日目	術後2日目	術後3～4日目	術後5～退院
処置				酸素マスクや心電図等のモニターを装着します。 胸に管が入っています	朝、酸素マスクや心電図モニターを外します肺のふくらみを確認して、胸の管を抜きます	定期的に傷の状態を診察します		管が抜けたら退院です
内服・点滴	薬を内服中の方はご提示下さい 夕食後に下剤を服用します 希望されれば寝る前に睡眠剤をお渡しします	○弾性ストッキングを着用し、術衣に着替えます ○義歯や指輪などは取り外して下さい 手術室へは歩いていきます		点滴が続きます 傷が痛むときは鎮痛薬をお渡しします	点滴を終了します 消炎剤や痰を出しやすくする薬が始まります			
検査	手術前に必要な検査で、外来で済んでいない検査等があれば行います			レントゲン検査をします		定期的にレントゲン検査を行います		
観察	身長・体重を測ります			体温や血圧等を定期的に測定します	毎朝体重を測って下さい			
食事	普通食（治療食）です 夕食後絶食です 経口補水液をお渡しします 制限はありません	水分は手術へ行く2時間前まで飲めます		医師の指示で飲水していただきます	朝から食事が出ます	手術をした方の腕を動かしましょう 痰はできるだけ出すようにしましょう 医師の指示で器具を使った呼吸訓練を開始します		
安静度	手術までに ○前開きの寝巻き（なければ術衣をお貸しします） ○吸い呑み（または曲がるストロー）をご準備下さい。 病棟より ○T字帯 ○弾性ストッキングをお渡しします。			翌朝までベッド上安静です 横向きになれます 手足は自由に動かしてください	朝から合併症予防のため 頑張ってください			
排泄				翌朝まで尿の管をいれておきます	体の調子をみて、尿の管を抜きます 管が抜けたらトイレをご使用下さい			
清潔	入浴していただきます			洗面やうがいはお手伝いします	体を拭くタオルをお渡しします 必要時看護師がお手伝いします	背中中の痛み止め、胸の管が抜けたら、入浴可能です。		
説明 その他	主治医・麻酔科医がご本人・ご家族に手術・麻酔について説明し同意書にサインしていただきます 看護師が ・入院生活について ・手術前の準備や手術後、経過等について説明します （パンフレットをお渡しします）	手術室はA棟3階です ご家族の方は手術開始までにお越し下さい 手術中は、手術室横の家族控室でお待ち下さい		医師が手術結果について説明します 看護師が手術後の注意事項等について、状況に合わせて説明します	薬剤師から薬の説明があります			退院です 主治医より説明外来受診 外来受診などについて説明します

※病状・経過により、予定が変更になる場合があります。 ※何かわからないことがあれば何なりとお尋ね下さい。

京都第二赤十字病院 呼吸器外科